

伊那市

ふるさとだより

「伊那市ふるさとだより」は、伊那市ふるさと大使など市にゆかりのある皆様から故郷への思いやご提言、近況などを寄せています。



ごあいさつ

伊那市長 白鳥 孝

日増しに濃くなる陽ざしに、例年よりも暖かかった冬の終わりと、春の訪れを感じる季節となりました。「ふるさとだより」は、ふるさと大使、特命大使の皆様のほか、伊那市にゆかりのある皆様方から、本市に対するご意見やご提言をいたぐ場をつくるとともに、相互交流の機会としていたぐことを目的に作成しており、本号で二十四号を迎えることとなりました。

など、大変内容の濃い貴重なものとなりました。ぜひ市民の皆様にもご一読いただきたいと考えております。伊那市公式ホームページでもこの「ふるさとだより」を公開しております。こちらもご活用ください。

また、お忙しい中ご寄稿いただきました皆様に、心から感謝申し上げますとともに、引き続き市政へのご支援・協力をお願い申し上げます。

本号も、伊那市にゆかりのある皆様の貴重な体験談やふるさとへの思い、鋭い情勢分析、また、伊那市への積極的な意見・ご提言

目次

有賀 晴子（元NHKテレビ・ラジオ体操インストラクター）

タマ

井口 昭久（名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授）

伊藤 嘉良（福島大学名誉教授）

伊藤 延司（翻訳家・ AFP通信日本版サイト顧問）

大羽 繁（東京長谷人会相談役）

大根田勝美（実業家）

蟹澤 聰史（東北大学名誉教授）

上岡実弥子（株ヤラウィット代表取締役）

川村 利美（東邦大学名誉教授）

北原 巍男（一般社団法人 日本東ティモール協会会長）

笛本 正治（長野県立歴史館館長）

白井 温紀（ガーデンデザイナー）

田畠 貞壽（千葉大学名誉教授）

中村 彰彦（作家）

中村 三郎（防衛大学校名誉教授）

新村 洋子（写真家、絵本と作家）

西村与志木（元NHKエグゼクティブ・プロデューサー）

野溝 友也（テレビディレクター）

橋爪 恵一（クラリネット奏者）

丸山 克（早稲田大学教授）

三澤 敬一（中京大学名誉教授・法学博士）

山北 肇（日本大学名誉教授）

向山 満（ハワイ大学経営学部大学院教授）

山北 一司（芸術文化普及研究家・生涯学習上級由紀さおり（歌手）

伊藤三千人（画家）挿絵「点深雪の仙丈ヶ岳」「夕暮れの五郎山と月」

（掲載は五十音順とさせていただきました）

スタバ？コメダ？ ウェストヴィレッジ！

上岡 実弥子

「お茶にする」と「お茶する」は、たった一文字の差だ。が、意味は大きく違う。

「お茶にする」は、「やえ、そろそろお茶にしんかえ？」

という時に用いる。「一服しよう」の意だ。とはいっても、伊那で出てくるのは「お茶」だけではない。煮物・漬物・甘い物（昔、『みごろ！たべごろ！笑いごろ！』というTV番組があつた……）等々の珍味がテソコ盛り。伊那のティータイムは、なかなか贅沢なのだ。

対して「お茶する」は、「おしゃべり」「デート」の意で、お茶は脇役である。大阪では「ねーちゃん、茶あしばかへんか？（お嬢さん、お茶を飲みませんか）」がナンパの常套句らしい。

デートとなると、ガゼンお店の雰囲気が重要である。ことに現代は、職場や学校ではなく、家庭でもない「第三の

場所（サードプレイス）」で過ごすのが大人気。伊那も、スタバ、コメダ珈琲など「第三の場所」が増えた。

伊那のコメダ珈琲で見た老夫婦は、黙々とコーヒーを飲み、雑誌を読み、何も話さず一時間ほどして一緒に帰った。これぞオトナ。贅沢で、素敵な時間の使い方だと思う。

伊那のコメダ珈琲で見た老夫婦は、黙々とコーヒーを飲み、雑誌を読み、何も話さず一時間ほどして一緒に帰った。これぞオトナ。贅沢で、素敵

な時間の使い方だと思う。

きつとスタバでも、シャレオツなオトナがタブレット片手に窓ぐだう……と思いつかや、先日、衝撃的な話を聞いた。

なんと、伊那のスタバで宿題をしている中高生がいる、というのだ。

斯塔バで学ぶ中高生よ。君たちも、将来思い出すよなティータイムを、伊那で過ごしてくれたまへ。

（株キャラウイット代表取締役）

新しい令和の時代に入り、初めての新年を迎え、オリンピック、パラリンピック年となり、わくわくしていましたが、一転、新コロナウイルスのニュースに毎日脅威を感じ、不安な日々が、続いています。

小学六年生の時に東京オリンピックがあり、新しいカラーテレビで観戦していた頃を懐かしく思い出します。今年のオリンピック、パラリンピックも無事開催できることを心より願っています。

今年も一月末にいなっせのホールで箏・三味線中心のコンサートを開催、好評により来年も続く予定ですが、駒ヶ根で十年開催させていただき

てきた「むつのをコンサート」は昨年で終了しました。

今年はむつのをコンサートと共に育ってきたジュニア和楽器隊独自のコンサート開催。

日本の音を未来に

川村 利美

子供たちの成長と可能性に未来への希望を感じます。

伊那市でも昨年秋にジュニア和楽器隊を立ち上げ、今年

は本格的に募集します。場所もいなつせなので、集まりやすく、小学生から高校生まで気軽に和楽器に触れて頂けるチャンスとして活用して頂きたいと思っています。

個人的には毎月三回くらいは伊那でお稽古もしていて、子育てが終わり復活してくる弟子たちもいたり、幼い頃からの方達もいて、伊那に通うのが楽しみです。そして、高速バスの車窓から感じられる四季の移り変わり、晴天の時の雄大な富士山など、私の移動時間は贅沢な自由時間です。伊那がふるさとで良かったとつくづく思うこの頃です。



中小機構公式チャンネル(SMRJ:独立行政法人中小企業基盤整備機構)
1. 管理職の職務とリーダーシップ～女性管理者のマネジメント～
<https://www.youtube.com/watch?v=Nvfd3Z5Erqs&feature=youtu.be>



（筝曲演奏家）